

データで見る経済の動き

## 浜松地域の経済動向

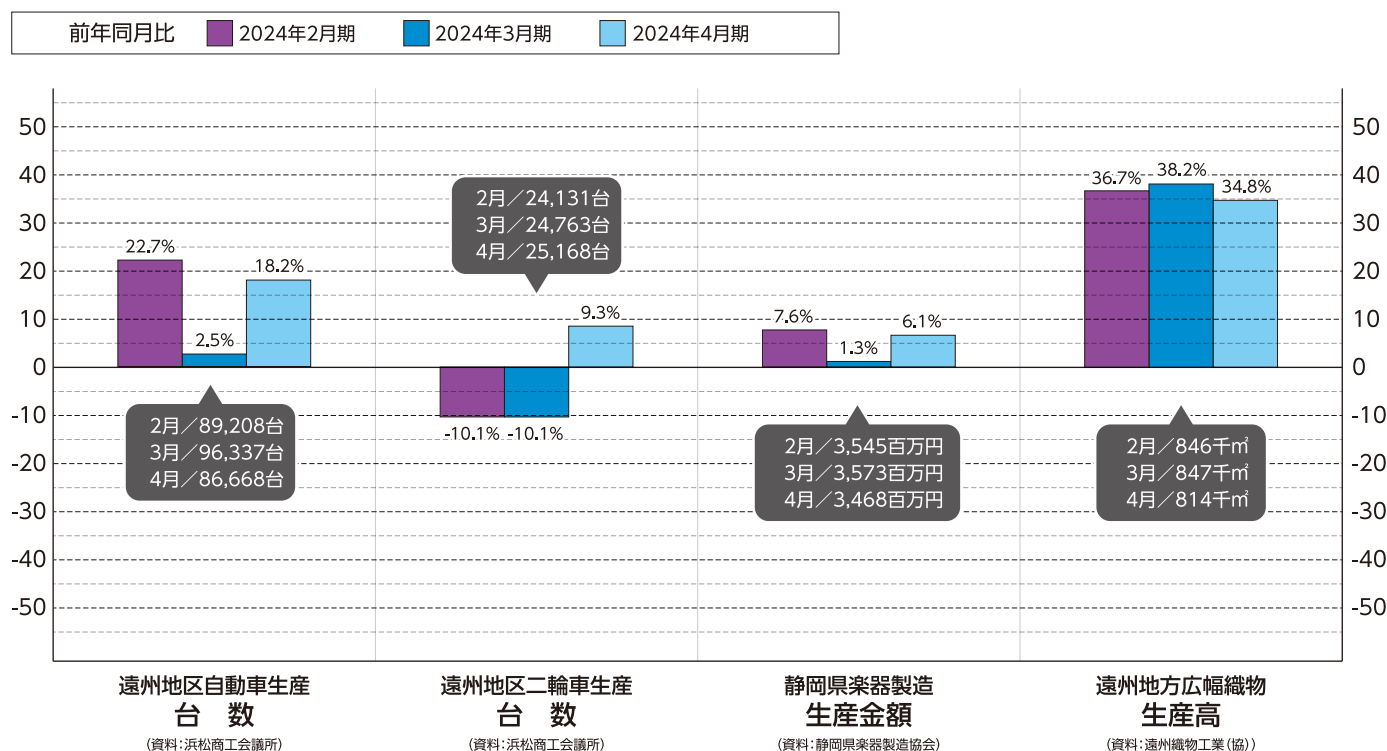
2024年  
4月を中心に

製造業は自動車、二輪車、楽器、繊維が前年同月を上回った。

外国為替は1ドル150円台を突破し、円安による影響が拡大。

自動車の生産台数は、自動車メーカーの認証不正問題の影響が解消し前年同月を上回った。二輪車は10カ月ぶりに前年同月を上回り今後の動向に注目している。楽器の生産金額は22カ月連続で前年同月を上回り堅調に推移し、繊維も9カ月連続で前年同月を上回った。運輸業（タクシー）は、期待された浜名湖花博による利用増には至らなかったが、ホテルの利用はインバウンドや浜名湖花博募集ツアーが好調だった。ガソリン価格は引き続き高値圏で推移し、外国為替はさらに円安が進行し、ついに150円台を突破した。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2024年4月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比18.2%増の8.6万台となり、3カ月連続で前年同月を上回った。自動車メーカーの認証不正問題などの影響は短期間で解消し、業況の回復がみられる。生産台数はコロナ前の水準に戻った。排気量別に区分して前年同月を比較してみると、軽自動車は17.1%増、小型四輪車は28.1%増、普通自動車は66.0%減となった。国内向けは10.9%増で3カ月連続で増加、輸出も47.5%増と好調を維持している。

## 二輪車



2024年4月における二輪車生産台数は前年同月比9.3%増の2.5万台となり、10カ月ぶりに前年同月を上回った。国内向けは27.0%増となり6カ月ぶりに、輸出も7.6%増で10カ月ぶりに上回った。排気量別では、50cc以下46.1%増、51cc～125cc以下18.3%増、126cc～250cc以下46.9%増、251cc以上0.6%増となった。車検のない原付から250ccまでの合計が4カ月連続で前月を上回っており、今後の動向に注目している。

## 楽器



2024年4月における楽器生産金額は前年同月比6.1%増の34.6億円となり、22カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は35億円を若干下回ったが好調を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.8%減、電子・電気ピアノ70.9%減、電子オルガン45.8%減、管楽器8.9%増となっている。

## 繊維



2024年4月の生産高は前年同月比34.8%増の814千㎡となり、9カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。アパレルメーカーなどはモノを作りすぎない傾向が顕著で、工場でも受注ロットは縮小している。さらに円安により、輸入する糸の値段が上がっていることも影響が大きいようである。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2024年4月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比7.8%減の27.9万人となった。平日の日中および週末夜間の需要は堅調であった。期待された浜名湖花博については、いまだ特別な利用増には至っていない。

### 観光

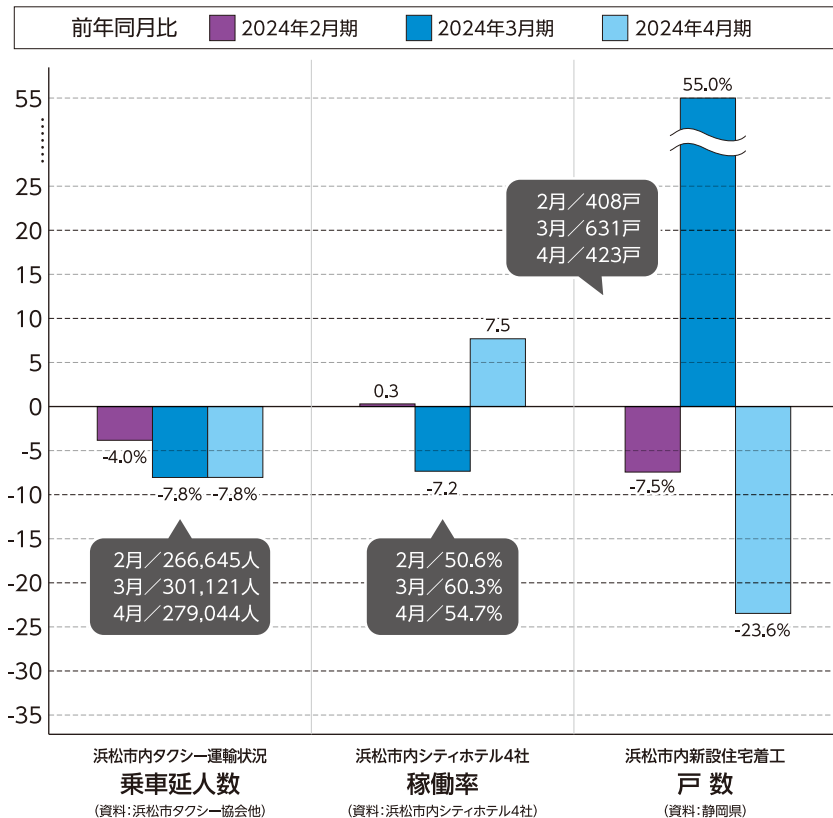


2024年4月の浜松市内ホテルの稼働率は54.7%であった。団体客は、インバウンドや浜名湖花博募集ツアーが好調であった。個人客は、観光・ビジネスともいまだ伸び悩む状況であった。

### 住宅着工



2024年4月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比23.6%減の423戸となった。内訳をみると、持家は151戸、貸家211戸、分譲住宅は61戸であった。持ち家は5戸、貸家は47戸のそれぞれ増加となったが、分譲住宅は173戸の減少であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年4月の有効求人倍率は前年同月比0.01ポイント下降の1.17倍となった。前月との比較で0.14ポイント下降となったが、例年4月以降の数カ月間は定年退職者の増加によって有効求人倍率は悪化する傾向がみられる。全国(1.26)との比較では0.09ポイント下回り、静岡県(1.15)との比較では0.02ポイント上回った。

### 倒産企業



2024年4月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は20件、金額は1.2億円だった。前年同月との比較では件数が7件増加し、金額は0.3億円の減少となった。件数に対して金額の割合が少なかったことをみると小規模経営の代位弁済が多かったと思われる。引き続きゼロゼ口融資の返済に窮して、代位弁済を受ける企業が増加傾向にある。

### ガソリン価格



2024年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.3円で前年同月との比較では8.7円増加した。前月との比較では0.3円減少したが、5カ月連続で175円を上回り高値圏で推移している。

### 外国為替



2024年4月の外国為替は1ドル153.43円となり150円を突破した。前年同月との比較で20.10円、前月との比較で3.80円の円安となった。4カ月連続で前月より円安となり、円安の進行が止まらない。円安による輸入物価高騰が経済活動におけるコスト上昇に影響を与えている。

